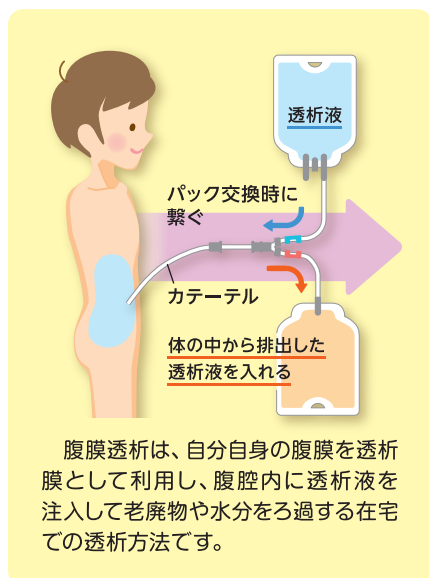


洛和会音羽記念病院

地域連携 NEWS

Vol.
20

〒607-8116 京都市山科区小山鎮守町29-1 TEL 075(594)8010(代) FAX 075(593)8035 <https://www.rakuwa.or.jp/kinen/>



腹膜透析の患者さんに対応しています

洛和会音羽記念病院では、外来透析だけでなく、**CAPD**(連続携帯行式腹膜透析)や**APD**(自動腹膜透析)を希望する方、すでに導入されている患者さんにも対応しています。腹膜透析は通院回数が少ないなどメリットがたくさんありますが、合併症を防ぐためにも定期的なメンテナンスが必要となる治療です。対象の患者さんがおられましたらご紹介ください。

PD外来でサポート

当院のPD外来では担当看護師が、診療補助、出口部観察ケア、日常生活・食事指導、ご自身で毎回記載されている**PDノート**の内容確認をしています。PD導入期の患者さんの指導や教育、退院指導など、患者さん一人一人に合わせてサポートしています。腎臓内科の専門医を中心に、各部門が密に連携して医療サービスを提供しており、緊急時には速やかに入院加療できる体制を整えています。



ライフスタイルに合わせた透析の提供

当院では、患者さんやご家族と相談をしながら、一人一人の病状やご事情に合わせて透析方法・時間・回数を設定し、生活の質(QOL)の向上を目指した**“オーダーメイド透析”**のご提案・サポートをしています。CAPDとAPDを組み合わせた腹膜透析や、血液透析を併用したハイブリッド透析も対応可能です。各医療機関の窓口担当の方や担当ケアマネジャーの方からのリハビリテーションやレスパイト入院のご相談も随時受け付けております。入退院時の送迎支援サービスも行っていますので、気軽にご相談ください。

※PD…腹膜透析

腹膜透析の合併症

PD腹膜炎

透析液交換時の手順間違い、出口部からの感染、自分の腸から細菌がおなかの中に侵入するなどが原因となり、腹膜炎を起こすことがあります。透析液は濁り、発熱、腹痛などの症状がみられます。正しい手順で透析液を交換することなどである程度予防できます。

出口部感染・トンネル感染

カテーテル出口部や皮下トンネル部に細菌の感染を起こすことがあり、疼痛、発赤、腫脹、出口部からの浸出液がみられます。自宅で出口部ケアをきちんと行うことが予防につながります。

被嚢性腹膜硬化症

長期間にわたるPD、不十分な状態での腹膜透析の継続、生体適合性が悪い透析液の使用などによる腹膜劣化に続いて起こるとされ、進行すると腸が癒着し腸閉塞になることがあります。生体適合性が高い透析液を使用する、腹膜の状態を定期的にチェックする、残腎機能低下後に無理な長期間PDを行わないことで予防します。

これらの合併症を予防するためには、定期的なメンテナンスが必要です。
もし合併症が起きた場合は当院での入院加療が可能です。



入院受け入れ体制について

受け入れに関する対象 ※2025年11月現在

医療等の種類		受け入れ状況
経管栄養	胃ろう	○
	経鼻	○
腹膜透析		◎
人工呼吸器(NPPV含む)		○
インシュリン		○
尿留置カテーテル		○
人工肛門		○
在宅酸素		○
ペースメーカー		○
人工透析		◎
中心静脈栄養		○
気管切開		○
痰の吸引		○
褥瘡		○
ターミナルケア		○

◎:積極的に受け入れ ○:可能 △:要相談 ×:不可

当院の病床は、一般病棟102床・医療療養棟31床となっています。腹膜透析症例に関しても、入院対応が可能です。リハビリ目的・長期療養目的の方もご相談ください。レスパイトのご希望も随時受け付けています。

腹膜透析のトラブルの際も送迎支援

当院では入退院の際に、患者さんの体の状態に応じて、当院とご自宅・施設間の送迎支援サービスを行っています。ストレッチャーやリクライニング車いすなどに対応できる車両を手配し、付き添いの方も2人まで同乗いただけます。ぜひご相談ください。



洛和会音羽記念病院
地域連携課

ご意見・ご質問・ご要望など承ります

受付時間

月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分

連絡先

TEL 075(594)8010(代)

FAX 075(593)8035

E-mail msw_k@rakuwa.or.jp

